

函館市の財政状況について

1 収支見通し(R6(2024)年度～R8(2026)年度)

(単位：百万円)

区 分	R5(2023)年度 決算	R6(2024)年度 見通し	R7(2025)年度 見通し	R8(2026)年度 見通し
歳 入	148,176	146,949	154,350	151,947
歳 出	144,944	146,317	155,589	154,847
推計収支	2,711(※)	632	▲1,239	▲2,900

※R5(2023)年度決算額は、翌年度へ繰り越すべき財源 521 百万円除く。

<参考>財政調整基金 残高

現行推計時点 年度末残高	9,178	9,497	8,385	7,294
-----------------	-------	-------	-------	-------

現行推計における歳入歳出の差し引き収支では、物価高騰等の影響に伴う資材価格や労務単価の上昇による負担増など、社会経済情勢の急激な変化による財政需要が生じていることなどから、令和 7(2025)年度では、約 12 億円の収支不足となり、さらに、令和 7(2025)年の国勢調査による人口減少に伴う普通交付税の段階的な減少や、社会保障関係経費の増加などにより、令和 8(2026)年度では、約 29 億円の収支不足となる見通しであり、この傾向は、令和 9(2027)年度以降も続いていくものと予測されます。

2 収支不足への対応

現行推計における収支不足に対しては、現行の行財政改革推進プラン(2022～2026)に基づく各種対策を押し進めてまいりますが、対策を講じてもおお、令和 7(2025)年度では約 5 億円、令和 8(2026)年度では約 13 億円の収支不足が生じる見通しです。

したがって、現行プランの計画期間中においても、さらなる行財政対策を講じ、収支不足の圧縮に努めてまいります。さらに、現行プラン終了後の令和 9(2027)年度以降についても、新たな行財政改革推進プランを策定し、収支不足の解消に向けた取り組みを押し進め、健全で持続可能な財政基盤の確立を図っていきます。

「今後の財政見通し(2024～2026)」(令和 6 年 11 月公表)から抜粋)